

TAIWAN JAPAN

次代の国際交流を
提案したい



姉妹校
生徒・教師の活発な交流



見学
同志社中学の見学ツアー



京都市内ツアー
京都に見所を案内

COLLABORATION_26



国境を越えて

共同の課題に取り組むProject!

2017年11月18日、台北の名門の私立中学「淡紅高級中学」の高校生8名が同志社中学に来校し、国際交流しました。メインとなる授業交流プログラムは、バディである日本人生徒が自分のクラスに淡江の生徒を連れて行き日本授業体験をしたり、建築構造のワークショップとしてマシュマロー

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた

チャレンジ、エンジニアリングマインドを育てる定番教材の竹とんぼを作りました。きわめてシンプルな説明のみ教師が行い、日本人と台湾人が協力して目標を達成するべく協力しあって授業課題に取り組みました。マシュマローチャレンジは、以前韓国のキム先生が本校で行ってくれた建築模型（スパゲティタワー）のコンテストでした。キム先生は当然いませんが、彼が教えてくれた題材を通して韓国と日本と台湾がつながりました。中谷医工計測振興財団の援助を得て行うことができました。

もう一つの目玉プログラムは、ホームステイです。8名のホストファミリーのご協力を得て、ホームステイによる日本文化体験をすることができました。ホームステイが最後の日ただけに「もう帰りたくない。まだ居たい」と淡江の生徒たちは言っていました。

京都ツアーでは、東福寺、伏見稲荷、一乗寺ラーメン街、哲学の道、四条河原町を訪れとても楽しい国際交流の一日となりました。

国境を越え課題を共同で

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。「国境をシェアし、一緒になってアイデアを出し合い、目の前の課題に対して解決しようと挑戦していけたらいいな」、「そんな原体験をこの授業で体験できたらいいな」…これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点なのです。（沼田）



手作りのおもてなし





